令 和 2 年 3 月 31 日
気象庁地球環境・海洋部

配信資料に関する仕様 No. 30502

～北西太平洋高解像度日別海面水温解析格子点資料～

１．概要

気象庁では、ひまわり、極軌道衛星、船舶やブイによる海面水温データを利用した北西太平洋域水平解像度 0.1 度の日別海面水温解析値を提供しています。

２．気象情報の内容等

本資料は、北西太平洋の海面水温の状況を把握するため、ひまわり、極軌道衛星による衛星観測データ、船舶やブイによるデータを使用して、最適内挿法によって解析された水平解像度 0.1 度の海面水温解析値です。

３．気象情報の仕様

- 領域：北西太平洋（0-60N、100E-180E）
- 格子系：等緯度経度 0.1 度間隔
- レベル：海面
- 要素：海面水温（単位はケルビン(K)）
- 時間・種別：実況・解析
- 通報形式：GRIB2（フォーマットの詳細は別紙 1 を参照ください）
- ファイルサイズ：約 600KB／1 回
- 配信時刻、回数：10 時 40 分頃、1 日 1 回

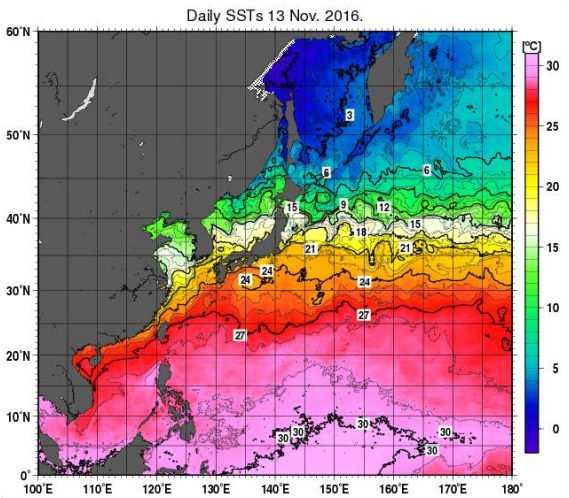

図　北西太平洋高解像度日別海面水温解析格子点資料から作成した分布図の例

- ファイル名

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_OCN_GPV_Rnwpa_Gll0p1deg_Pss_A***yyyyMMddhh***_grib2.bin （ファイル圧縮なし）

※Z と C の間にはアンダースコアが 2 個、その他のアンダースコアは 1 個。
yyyyMMddhhmmss は配信年月日時分秒(UTC：協定世界時）、
yyyyMMdd は解析データの年月日(UTC：協定世界時)で、***hh*** は 18 で固定。

４．障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行いません。あらかじめご了承ください。

GRIB2 通報式による
北西太平洋高解像度日別海面水温
解析格子点資料のフォーマット

気象庁　地球環境・海洋部

GRIB2 通報式による北西太平洋高解像度日別海面水温解析格子点資料のフォーマット

節番号	節の名称・該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考
第 0 節	指示節	1～4	GRIB		“GRIB”	国際アルファベット No.5（CCITT IA5）
		5～6	保留		missing	
		7	資料分野	符号表 0.0	10	10:海洋プロダクト
		8	GRIB 版番号		2	
		9～16	GRIB 報全体の長さ		******	
第 1 節	識別節	1～4	節の長さ		21	
		5	節番号		1	
		6～7	作成中枢の識別	共通符号表 C-1	34	34: 東京（RSMC）/気象庁
		8～9	作成副中枢		0	
		10	GRIB マスター表バージョン番号	符号表 1.0	14	14:2014年11月5日実施バージョン
		11	GRIB 地域表バージョン番号	符号表 1.1	1	地域表バージョン1
		12	参照時刻の意味	符号表 1.2	0	0解析
		13～14	資料の参照時刻（年）		******	
		15	資料の参照時刻（月）		******	
		16	資料の参照時刻（日）		******	
		17	資料の参照時刻（時）		18	
		18	資料の参照時刻（分）		0	
		19	資料の参照時刻（秒）		0	
		20	作成ステータス	符号表 1.3	0	0:現業プロダクト
		21	資料の種類	符号表 1.4	0	0:解析プロダクト
第 2 節	地域使用節	不使用			省略	

第　３節	格子系定義節	1～4	節の長さ		72	
		5	節番号		3	
		6	格子系定義の出典	符号表 3.0	0	0:符号表 3.1 で定められている
		7～10	資料点数		480000	Ni×Nj
		11	格子点数を定義するリストのオクテット数		0	
		12	格子点数を定義するリストの説明		0	
		13～14	格子系定義テンプレート番号 N	符号表 3.1	0	0:緯度・経度格子
	ここからテンプレート 3.0	15	地球の形状	符号表 3.2	6	6 ： 半径 6371229.0 m の球体と仮定した地球
	↓	16	地球球体の半径の尺度因子		missing	
	↓	17～20	地球球体の尺度付き半径		missing	
	↓	21	地球回転楕円体の長軸の尺度因子		missing	
	↓	22～25	地球回転楕円体の長軸の尺度付きの長さ		missing	
	↓	26	地球回転楕円体の短軸の尺度因子		missing	
	↓	27～30	地球回転楕円体の短軸の尺度付きの長さ		missing	
	↓	31～34	緯線に沿った格子点数（Ni）		800	
	↓	35～38	経線に沿った格子点数（Nj）		600	
	↓	39～42	原作成領域の基本角		0	
	↓	43～46	端点の経度及び緯度並びに方向増分の定義に使われる基本角の細分		missing	
	↓	47～50	最初の格子点の緯度		59950000	10^{-6}度単位
	↓	51～54	最初の格子点の経度		100050000	10^{-6}度単位
	↓	55	分解能及び成分フラグ	フラグ表 3.3 (※1)	48	=(00110000)
	↓	56～59	最後の格子点の緯度		50000	10^{-6}度単位
	↓	60～63	最後の格子点の経度		179950000	10^{-6}度単位
	↓	64～67	i 方向の増分		100000	10^{-6}度単位
	↓	68～71	j 方向の増分		100000	10^{-6}度単位

	ここまで テンプレート3.0	72	走査モード	フラグ表3.4 (※2)	0	=(00000000)
第　4 節	プロダクト定義節	1～4	節の長さ		34	
		5	節番号		4	
		6～7	テンプレート直後の座標値の数		0	
		8～9	プロダクト定義テンプレート番号 x	符号表4.0	0	0:解析又は予報
	ここから テンプレート4.0	10	パラメータカテゴリー	符合表4.1	3	3:海表面の特性
	↓	11	パラメータ番号	符号表4.2	0	0:海面水温
	↓	12	作成処理の種類	符号表4.3	0	0:解析
	↓	13	背景作成処理識別符	JMA4.1定義	210	210:海面水温解析
	↓	14	解析又は予報の作成処理識別符		missing	
	↓	15～16	観測資料の参照時刻からの締切時間（時）		0	
	↓	17	観測資料の参照時刻からの締切時間（分）		0	
	↓	18	期間の単位の指示符	符号表4.4	1	1:時
	↓	19-22	予報時間		0	
	↓	23	第1固定面の種類	符号表4.5	1	1:地面又は水面
	↓	24	第1固定面の尺度因子		missing	
	↓	25-28	第1固定面の尺度付きの値		missing	
	↓	29	第2固定面の種類		missing	
	ここまで	30	第2固定面の尺度因子		missing	
	テンプレート4.0	31～34	第2固定面の尺度付きの値		missing	
第　5 節	資料表現節	1～4	節の長さ		21	
		5	節番号		5	
		6～9	資料点の数		******	
		10～11	資料表現テンプレート番号 x	符号表5.0	0	0:格子点資料-単純圧縮
	ここから テンプレート5.0	12～15	参照値（R）		******	Y×10^D=R+X×2^E
	↓	16～17	2進尺度因子(E)		******	
	↓	18～19	10進尺度因子（D）		******	
	↓	20	ビット数		12	
	ここまで テンプレート5.0	21	原資料場の値の種類	符号表5.1	0	0:浮動小数点

第　６節	ビットマップ節	1～4	節の長さ		60006	(Ni×Nj)/8+6
		5	節の番号		6	
		6	ビットマップ指示符	符号表6.0	0	ビットマップ適用
		７～60006	ビットマップ		1 or 0	0:欠損値 1:非欠損値 ビット毎に記述
第　７節	資料節	1～4	節の長さ(nn)		******	
		5	節の番号		7	
		6-nn	二進資料値-尺度付き資料のビット列		******	資料テンプレート7.0で記述された形式
第8節	終端節	1～4	7777		“7777”	国際アルファベットNo.5 (CCITT IA5)

！　値が「missing」の場合、そのデータは全ビット１の値、「******」は可変を示す。

※１　フラグ表３.３：分解能及び成分フラグ

ビット番号 値　　意　味

１～２　保留

３　０　ｉ方向の増分を与えない

１　ｉ方向の増分を与える

４　０　ｊ方向の増分を与えない

１　ｊ方向の増分を与える

５　０　東及び北方向に沿って分解されたベクトル量のｕ及びｖ成分

１　ｘ及びｙ（又はｉ及びｊ）座標が増加する方向それぞれに定義された格子に沿って分解されたｕ及びｖ成分

６～８　保留－０に固定

※２　フラグ表３.４：走査モード

ビット番号 値　　意　味

１　０　最初の行又は列の格子点をｉ（又はｘ）の増加方向に走査

１　最初の行又は列の格子点をｉ（又はｘ）の減少方向に走査

２　０　最初の行又は列の格子点をｊ（又はｙ）の減少方向に走査

１　最初の行又は列の格子点をｊ（又はｙ）の増加方向走査

3	0	ｉ（又はｘ）方向の隣接格子点が連続
	1	ｊ（又はｙ）方向の隣接格子点が連続
4	0	すべての行を同方向に走査
	1	隣接する行を逆方向に走査
5	0	Points within odd rows are not offset in i (x) direction
	1	Points within odd rows are offset by Di/2 in i (x) direction
6	0	Points within even rows are not offset in i (x) direction
	1	Points within even rows are offset by Di/2 in i (x) direction
7	0	Points are not offset in j (y) direction
	1	Points are offset by Dj/2 in j (y) direction
8	0	Rows have Ni grid points and columns have Nj grid points
	1	Rows have Ni grid points if points are not offset in i direction Rows have Ni-1 grid points if points are offset by Di/2 in i direction Columns have Nj grid points if points are not offset in j direction Columns have Nj – 1 grid points if points are offset by Dj/2 in j direction

注：

（１） i 方向：緯線に沿って西から東方向，又はX軸に沿って左から右方向

（２） j 方向：経線に沿って南から北方向，又はｙ軸に沿って下から上方向

（３）第４ビットが１ならば，最初の行の走査は，第１～３のビットで定義されたとおりである。

（４）La1 and Lo1 define the first row, which is an odd row.

（５）Di and Dj are assumed to be positive, with the direction of i and j being given by bits 1　and 2.

（６）Bits 5 through 8 may be used to generate staggered grids, such as Arakawa grids　(see Attachment, Volume I.2, Part B, Att. GRIB).

（７）If any of bits 5, 6, 7 or 8 are set, Di and Dj are not optional.